

敬老の日



ミルトニア / スペクタビリス モレリアナ

9月の第3月曜日は敬老の日です。敬老の日は、日本の国民の祝日の一つ。

国民の祝日に関する法律（祝日法）では「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としています。2002年までは毎年9月15日を敬老の日としていましたが、2001年の祝日法改正いわゆるハッピーマンデー制度の適用によって、2003年からは9月第3月曜日となりました。なお、敬老の日を第3月曜日に移すにあたり、高齢者団体から反発が相次ぎ、2001年に老人福祉法第5条を改正して9月15日を老人の日、同日より1週間を老人週間としています。

敬老の日はじまり

敬老の日は、兵庫県多可郡間谷村（現在の多可町八千代区）で1947年に提唱された「としよりの日」がはじまりです。「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という主旨のもと、農閑期で気候も良い9月中旬の15日を「としよりの日」と定め、敬老会を開きました。これが1950年からは兵庫県全体で行われるようになり、1954年には国民の休日として制定され全国に広がりました。しかし「としよりの日」という表現を変え、「老人の日」と改称されましたが、やがて1966年に国民の祝日法改正で、現在の「敬老の日」と改められました。このため「母の日」のように外国から輸入されたような記念日と違い、「敬老の日」は諸外国にはありません。

敬老の日の由来

1、聖徳太子説
聖徳太子が現在の大阪市に四天王寺を建てたとき、敬田院・悲田院・施薬院・療病院の四箇院を設置したといわれています。その中の悲田院は身よりのない老人や病人を収容する救護施設で、今でいうところの老人ホームです。悲田院というのは元々中国にあったもので、中国文化の直輸入に熱心であった太子が、

一流の国家は福祉も一流でなければならないという理想に燃えて設立したもののようです。この悲田院が誕生したのが9月15日であったため、この日が選ばれたということです。ちなみに悲田院は現在でもその名前でも保育園などの児童福祉サービスの他に、様々な老人サービスを行っています。

2、元正天皇説

美濃の国にお酒の好きなおじいさんと、孝行な息子がいました。しかし貧乏なので、息子はおじいさんにあまりお酒を飲ませてあげることができませんでした。この息子はきりきりをしていましたが、ある時足を滑らせて谷間に落ちたところ、そこに酒の流れる滝があるのを見つけました。息子は喜んでこの酒を持ち帰り、おじいさんにたくさんお酒を飲ませてあげました。

この話を聞いた元正天皇が霊龜3年（717）9月その地、「万病を癒す薬の滝」といわれていた岐阜県の養老の滝へ行幸し、そのきりを役職に取り立ててやるとともに、これを瑞兆として11月17日元号を「養老」と改めたことです。この故事にもとづき、全国的に9月中旬頃に地域のお年寄りを招待して敬老会を開くということが慣わしになり、敬老の日になったといわれています。

いずれの説も確かではなようですが、お年寄りを大切にすることが敬老の日に結びついたことは間違いありません。

敬老の日の花

日本ならではの伝統を大切にし、年を重ねたおじいちゃん、おばあちゃんへの健康と長寿、そして尊敬の念を込めてお花を贈りましょう。

アキヒロアジサイ

シックな色合いが美しいアキヒロアジサイもこの時期とても人気です。切花として飾った後は、ドライフラワーとしても楽しめます。いつまでも元気に長生きしてほしいという願いを込めて「長持ち」して「いつまでも美しい」アジサイを贈ってみてはいかがでしょうか。



秋色アジサイ

リンドウ

秋の代表的なお花で敬老の日に贈るお花の定番です。聖徳太子が官吏の位を上から紫→青→赤→黄→白→黒としたように、リンドウの紫が、古来より位の高い人、尊敬に値する人に身にまといてもらおう色として大切にされてきたためとされているようです。

ケイトウ

こちらも秋の代表的なお花。花言葉には「おしゃれ」「不老不死」などがあり、「いつまでも若々しくおしゃれ」という意味合いが込められているため敬老の日にプレゼントする方が多いようです。

トルコギキョウ

こちらはこの時期出荷のピークを迎える切花。落ち着いた色合いのトルコギキョウは高級感がありエレガントな雰囲気を作り出します。花言葉も「優美」「希望」「清々しい美しさ」など素敵な言葉ばかりです。

ニオイザクラ

敬老の日の時期に多く出回ることから敬老の日ギフトとして人気のニオイザクラ。とても可愛らし花姿とやさしい花色、爽やかな芳香が特徴で、心を穏やかに落ち着かせてくれる鉢物です。花言葉は「しとやか」「優雅な人」。

ペゴニア

風や雨にも強く、直射日光にも耐える丈夫なので育てやすく、手入れも簡単な鉢物です。花色も豊富。やさしい色、元気な色、縁起良く紅と白など、プレゼントを贈る方の雰囲気に合わせて色をお選びください。

参考商品：9月頃開花する天草小蘭

